



特集

ESOMAR 国際綱領改定の動向とこれから
— 調査・データ分析への信頼再構築と進化への対応 —

TOPICS

- 正会員社の皆様へ：JMRA50 周年記念サイトへのメッセージ・ロゴ掲載ご協力をお願いします（再依頼・締切延長）
- 開催報告：生成 AI・情報交流会（第 7 回）

Vol.91

2025/5/20 配信

私たちは今、目まぐるしい変化の時代を生きています。物価の高騰は生活者の消費行動や価値観に日々影響を与え、AI 技術の進化はデータ活用のあり方を急速に変えています。こうした社会・技術の変化と時を同じくして、開催中の大阪・関西万博では「いのち輝く未来社会のデザイン」がテーマとして掲げられ、最先端技術や多様な文化に触れながら、未来への期待とともにリアルな体験を求める人々の姿が見られます。

このように、社会の状況や技術、そして人々の関心が多方面で変化する時代だからこそ、表面

的なデータや出来事だけを追うのでは不十分です。その奥にある生活者の隠れたニーズや本音——すなわち「インサイト」を深く捉えることの重要性が、かつてなく高まっているのです。AI が示すファクトから何を読み解き、万博が描く未来の兆しからどのような新しい価値観の芽を見出すのか。私たちリサーチャーや marketer には、変化の深層を探り、未来を洞察する力が一層求められています。

本号のメールマガジンでは、皆様のインサイト発見やリサーチ活動に役立つ情報をお届けします。ぜひ最後までお楽しみください。

＜JMRA ウェブ・メルマガ委員会＞

[メルマガ登録について詳しくはこちら](#)

特 集



ESOMAR 国際綱領改定の動向とこれから

— 調査・データ分析への信頼再構築と進化への対応 —

市場・世論・社会調査業界の国連憲章にもたとえられる「ICC/ESOMAR 国際綱領」が、2016 年以来 9 年ぶりに改定されようとしています。この間、当業界は GDPR (EU の個人情報保護法制) の適用開始 (2018 年～)、コロナ禍への対応 (2020 年～)、生成 AI の急速な普及 (2022 年 11 月～) といった荒波にもまれてきました。

社会経済環境の変化を反映し、今回の改定では (1) AI をはじめとするデジタル環境進化への対応、(2) GDPR 以降の個人情報保護体制強化、(3) 調査品質対策の強化などが焦点となっています。

調査・分析業務の発注者 (クライアント) ニーズも変化を続けており、当業界が今後果たすべき役

割の革新が問われていると言えるでしょう。

新綱領(案)はほぼ議論が出尽くし、6月12日のESOMAR臨時会員総会で採択され、ICC(国際商業会議所)の理事会承認を経て発行される見込みです。今後、JMRAマーケティング・リサーチ綱領の改定、ISO 20252(日本ではJIS Y 2052)の改定、各種ガイドラインへの反映などが続くことになります。

日本市場にも大きな変革が迫られる中、そのポイントについて概説を試みたいと思います。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS

50周年記念サイト 正会員社メッセージ募集

ウェブ・メルマガ委員会より正会員社の皆様へ

JMRA50 周年記念サイトへのメッセージ・ロゴ掲載

ご協力をお願いします(再依頼・締切延長)

ウェブ・メルマガ委員会では、2025年にJMRAが発足50周年を迎えるにあたり、記念サイトを制作し、2025年秋の公開を目指しております。この記念すべき節目を会員社の皆様と共に祝い、業界の未来への展望を共有する場といたしたく、改めてメッセージ等のご提供をお願い申し上げます。

皆様からのメッセージは、記念サイトを彩る貴重なコンテンツとなります。また、貴社のロゴ掲載は、多くの関係者にご覧いただく良い機会にもなるかと存じます。ぜひこの機会に、貴社のインサイト業界における展望や想いをお寄せいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

[詳しくはこちら](#)



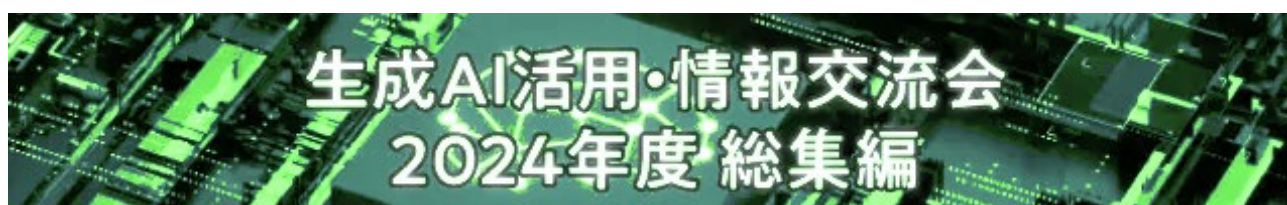
開催報告：生成 AI・情報交流会（第 7 回）

2025 年 4 月 9 日、インターネット調査品質委員会の主催による第 7 回の「生成 AI 活用・情報交流会」が開催されました。

今回の情報交流会は、参加者同士のディスカッションをメインとして、生成 AI の日々の業務における具体的な活用事例や、リサーチ業界の未来とリサーチャーが今後身につけるべきスキルについて活発な意見交換が行われました。

AI は日々の業務の効率化に大きく貢献する一方で、その利用にはまだ多くの課題や人間の介在が必要な部分があることや、AI エージェントによるアンケートの自動回答といったリスクについて指摘がありました。また、シンセティックデータのような新しい技術活用に伴って「アスキングデータ」の価値が改めて重要となることが議論され、参加者にとって有益な情報共有の場となりました。

[詳しくはこちら](#)



生成 AI 活用・情報交流会 2024 年度 総集編

生成 AI 活用・情報交流会の成果として、当初はプロンプト集等の整備を想定していました。しかしながら、生成 AI は急速に進歩を続けており、情報交流会を開始した 2024 年 6 月時点と比べても、AI ができることは格段に増えています。その結果、過去に蓄積したプロンプトのノウハウが役に立たなくなるケースも出てきました。

このような状況を踏まえ、インターネット調査品質委員会では、各情報交流会での発表内容をできる限り公開することが、より有効であるとの結論に至りました。

つきましては、2024 年度の情報交流会の活動内容を幅広く共有させていただきます。（資料のダウンロード・閲覧が可能です）

業界のみなさんにとって、参考になる情報が満載です。情報交流会に参加できなかった人もぜひ生成 AI に関する情報をアップデートしてください。

[詳しくはこちら](#)

連 載

JMRA マーケティングデータ・ストレージ ピックアップセレクション

最近 JMRA マーケティングデータ・ストレージに掲載された会員社の自主調査から、ウェブ・メルマガ委員会が精選した自主調査をご紹介します。

今月の注目調査

●母の日・父の日についてのアンケート
(2025.04.30(株)マーケティング・リサーチ・サービス)

母の日にプレゼントを贈る割合は約半数で、一方、父の日に贈る割合は約 4 割で、母の日に贈る人の方が多いことがわかりました。ただし、

今月の注目調査

●～配慮が求められる時代のコミュニケーション実態～ハラスメントに関する調査
(2025.04.16 日本インフォメーション(株))

2024 の調査と比較しハラスメントに対する意識の変化や職場でのコミュニケーションに変化が見られるかを調査しています。ハラスメント意識

父の日のプレゼントの予算の方が少し高くなっています。

の高まりによる働きやすさに変化が見られ、一概に働きやすくなったとは言えないようです。

詳しくはこちら
(JMRAマーケティングデータ・ストレージ)

詳しくはこちら
(JMRAマーケティングデータ・ストレージ)

連 載

What's happened?

おすすめ記事をピックアップしてご紹介



●味の素「クノール カップスープ」が実践
“ユーザーインサイト”を捉える Instagram 活用術

詳しくはこちら
(外部サイト:MarkeZine)



●工数 50%削減に成功！
なぜ KDDI は「広告クリエイティブ生成 AI システム」をゼロから作ったのか？

詳しくはこちら
(外部サイト:MarkeZine)

教育講座・セミナー案内



マーケティング・リサーチ ベーシックコース
(春季)
2025年5月1日(木)～6月30日(月)

●マーケティング・リサーチ ベーシックコース(春季)

本講座は、初めてマーケティング・リサーチ業務に接する人から3年程度の業務経験を重ねた方の、リサーチの全体像の知識取得と理解を目標として開講するものです。

講座の内容は、マーケティング・リサーチの基本である、定量調査と定性調査の基礎を理解し、マーケティング・リサーチの全体を俯瞰して体系的に学びます。そのうえで、調査の各工程は有

機的に結合し、ある工程の成果は次の工程に大きく影響することを踏まえて、各工程に従事する人が、調査の全工程を含む知識を有することができるものとなっています。

今期より定量調査の解説に多くの事例を紹介し、より理解しやすくなるように編集をいたしました。

マーケティング・リサーチの実務を担当して日の浅い方や調査の基本を知りたい方、また、調査の営業・企画担当者に受講をお勧めします。

・日程(視聴期間):2025年5月1日(木)10:00~6月30日(月)17:00まで

・会場:オンデマンド+フォローアップ講座

詳しくはこちら



レイ・ポインター氏の最新AI講座
『生成AI:CoPilotとChatGPT
リサーチ&インサイト活用最前線』
2025年6月4日(水) 10:00~16:00

●レイ・ポインター氏の生成 AI のリサーチ&インサイト活用最前線

対面式、英語によるセミナー(日本語解説付き)

みなさんは、生成 AI をリサーチの日々の業務でどのように活用していますか？

生成 AI は急速に進歩を続けており、AI ができることは格段に増えています。その進歩の波に乗ってみなさんのリサーチ業務での利用価値もアップデートさせていきましょう。

1年前は生成 AI といえば ChatGPT の様相がありましたが、1年の間にリサーチで活用できる生成 AI の幅は広がり、適材適所でふさわしいものをリサーチャーが選べる状態になっています。

-Microsoft Copilot と M365

-Google AI スイート(Gemini、Colab、AI Studio、Notebook LM)

-Anthropic Claude / Perplexity / LLaMA / DeepSeek

午前は、基本的な理解(入門編)、午後は、リサーチ業務現場での具体的な活用(実践編)の二部構成です。

世界中のリサーチャーにリサーチ現場での生成 AI の活用法を教えるレイ・ポインター氏のこの講座を受講して、試行錯誤のフェーズを超え、自信をもって生成 AI を活用し、業務の効率化、分析の深化を推し進めていきましょう。現場のリーダーのみなさんに特にお勧めです。

・日程:2025年6月4日(水)10:00~12:30 / 13:30~16:00

・会場:JMRA 研修室

詳しくはこちら



●ESOMAR Connect Japan 2025 受付が始まっています！

2025 年の ESOMAR Connect イベントは、“RENEWAL” を統一テーマにアジア各国を回ります。JMRA も協賛する国際市場調査デー(IMRD 2025)の一環として、日本では 6 月 10 日(火)の 16:00 より開催されます。今年も基本的にリアル参加をお願いしております(遠隔地の方々のため、オンライン配信も実施します)。

急速な発展を続ける生成 AI が市場調査及びインサイト産業界に変革を迫る中、新しい波にキャッチアップする機会をご提供します。

5 名の登壇者と発表テーマも確定しました！ 前回同様、情報交流会を含めて「無料」です。参加登録受付(会場／オンライン)も始まりました。お急ぎください！

・日程：2025 年 6 月 10 日(火) 15:30 開場、16:00 開会、(18:30 頃～ 情報交流会)

・会場：GMO Yours・フクラス(渋谷)(会場提供：GMO インターネットグループ)

[詳しくはこちら](#)



定性調査がわかる基礎講座

2025 年 7 月 3 日(木)

●定性調査がわかる基礎講座

実務経験豊富な講師陣が、体験に基づいた定性調査の魅力と基礎知識をぎゅっと凝縮してお伝えします。

これから定性調査に取り組もうという方、定性調査のプロジェクトを進める上でのビギナーやアシ

スタントの役割を担う方、また、定性調査を担当するようになったものの、いまひとつ確信がもてないと感じておられる方にも、ぜひご参加いただきたいオンライン講座です。

定性調査のおもしろさ、醍醐味、実務の流れ、設計上必要なこと、注意点を、講義とワークとQ&Aで、体感的に学べます。

・日程:2025年7月3日(木)10:00～16:00

・会場:Zoom ミーティング

詳しくはこちら



定性調査 実務に役立つ企画力養成講座

2025年7月9日(水)・16日(水)・23日(水)・30日(水)

●定性調査 実務に役立つ企画力養成講座

調査意図を見極めて、分析的な視点で企画する力を身に付けます。

企画は調査の羅針盤です。企画をしっかりと考えることは、調査そのものの価値を上げ、役に立つアウトプットを導くことに繋がります。本講座では、クライアントのマーケティング課題を、調査目的→調査課題→調査項目と整理し、フローにつなげる流れを体系的に学びます。実際の実務の中で「シマッタ！を無くしたい」、「より満足度の高い定性調査にしていきたい」、そんな方々にご参加いただきたい講座です。

実際に直面するような事例を使った実践的なワーク体験で、考える力を身に付けます。

複数の事例で、考える&実践的なワークを通して学びます。

まず個人で考え、次に少人数のグループでディスカッションという組み合わせでワークを行うことで、知識をしっかり腹落ちさせます。

・日程:2025年7月9日(水)11:00～17:00、

7月16日(水)・23日(水)・30日(水)13:00～17:00

・会場:7月9日(水)JMRA 研修室、

7月16日(水)・23日(水)・30日(水)Zoom ミーティング

詳しくはこちら

お知らせ

●正会員社代表者の皆様へ 定時総会のご案内

5月28日(水)15:00より、第15回一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会「定時社員総会」を開催します。総会では2024年度の事業報告と同収支決算報告、2025年度の事業計画案と同収支予算案の承認等を求める予定です。

詳しくは5月中旬に発送しました総会資料をご確認ください。

●サイバー攻撃による不正アクセスの増加について

このところ、JMRA会員社及び関係各所において、外部からの不正アクセスの試みが急増していることが確認されています。皆様におかれましても、十分な情報セキュリティ対策の実施をお願いします。

●6月号は6月17日(火)発行予定です

◆このメールはメルマガをご登録された方に配信しています。

◆配信停止を希望される方は [こちら](#)よりお願いいたします。

◆このメールは送信用アドレスから配信しているため、ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

◆プライバシーポリシーは [こちら](#)をご覧ください。

◆配信元：一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-9-9 石川LKビル2階

<https://www.jmra-net.or.jp/>

office@jmra-net.or.jp

あなたの中に未来がある。